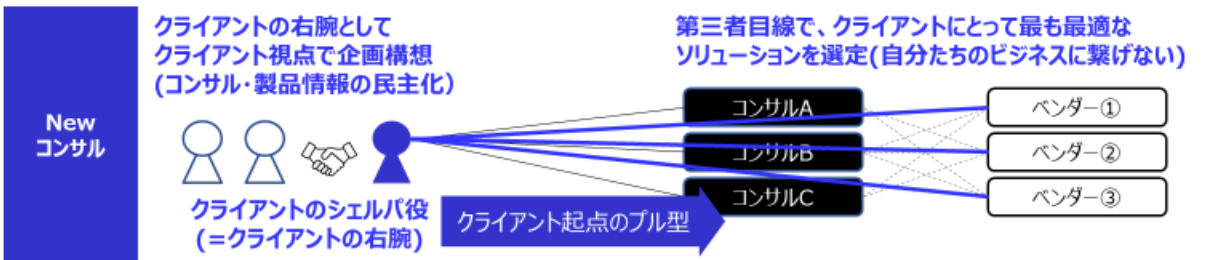
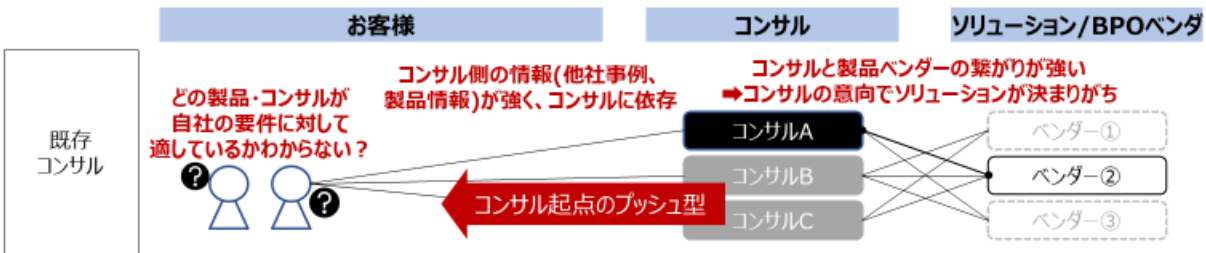


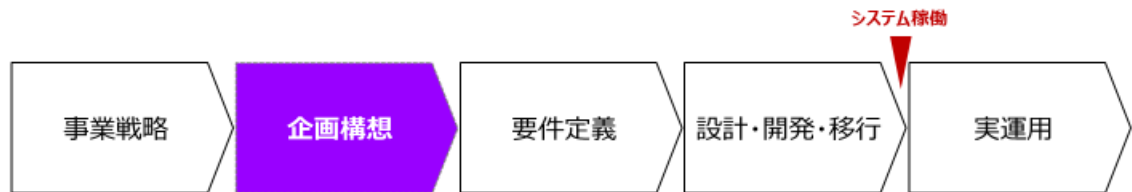
“内なる外(シェルパ)”としての伴走モデル

他コンサルファーム、ベンチャー企業、CXOネットワーク等を活かしながら、外部視点を持った内部としてクライアント企業に伴走し、クライアントサクセスを実現する



日本のSIで起きがちな企画構想フェーズの欠如

日本のSIでは「企画構想フェーズ」が欠如し、要件定義フェーズ以降に頓挫するケースが多い。単なるシステム導入ではなく、ゴールである「経営戦略の実現」に向けて企画構想フェーズで変革テーマの具体化・優先順位付けが重要。



日本のSIでは企画構想フェーズが抜けがち・・・

結果として、あるべき姿・定量的な成果・変革テーマが具体化せず、スコープ・スケジュール(マイルストーン・過渡期)も曖昧なままに。要件定義後に「なぜこのIT導入をすべきなのか」「導入ありきで何も変わらない」といったことが起きがち。

【企画構想フェーズで具体化すべき事項】

- ・目指すべき姿
- ・定量的な成果(ROI)
- ・定量的な成果に紐づいた変革テーマ(優先順位付けも)
- ・スケジュール(マイルストーン・過渡期)

従来のSIとSI-X導入手法の違い



SI-Xサービスメニュー

